

基礎編8 企業の障害者雇用におけるテレワーク等取組事例

支援機関との連携・協働

～ギャップを埋めるために～

株式会社テクノプロ・スマイル
雇用推進部 原 健太郎

本日の講演について

目的：当社の取り組みについて話をするすることで
視聴される皆様に必要な気づきをしてもらうこと



自己紹介



名前：原 健太郎（はら けんたろう）

所属：株式会社テクノプロ・スマイル 雇用推進部

キャリアコンサルタント、第一種衛生管理者

出身：長野県出身 趣味：サッカー、麻雀

【学生（修士）時代の研究テーマ】

IE、労働科学、人間工学、バリアフリー、ユニバーサルデザインなど

【経歴】

① 独立行政法人高齢・障害・求職者支援機構

NIVR障害者職業総合センター 嘱託社員（事業主支援部門研究助手）

- ・ 文献検索
- ・ 研究成果物・刊行物の調査・一部執筆
- ・ データベース作成（特例子会社一覧）
- ・ アビリンピックデータ入力競技作成

② 現職

特例子会社の指導員⇒採用担当



株式会社テクノプロ・スマイル

TECHNOPRO
Smile

すべての人に
はたらく笑顔を

スマイル宣言

個性にやさしく、全ての社員が笑顔で働ける未来を創造します。

ダイバーシティマネジメントを実行します

さまざまな障がいや個性の違い、老若男女の多様化に社会に対応する体制を作ります。

バリアフリーな会社を目指します

全ての障がいや個性の違いが障壁とならずに働ける会社を目指します。

ノーマライゼーションに取り組みます

障がいや個性の違いにより、特別に区別されることなく、社会参加できる事を支援していきます。

スマイル・ポリシー

採用

- 環境・障がいの区別なく仲間を増やしていきます。
- 仕事の意欲があれば、社会への参加を支援します。
- 地域にとらわれることなく、仲間作りをしていきます。

仕事

- 障がいや個性が障壁にならないように仕事を創造します。
- 常識にとらわれることなく仕事の創造にチャレンジします。
- 地域に貢献し、仕事を創造していきます。
- 品質の向上を目指します。

定着

- できる事を増やす為に皆で協力していきます。
- 働く楽しさを感じる環境を作っていきます。
- 一人にしない環境を作ります。

会社概要

社名 株式会社テクノプロ・スマイル (テクノプロ・ホールディングス株式会社特例子会社)
設立 2007年8月1日 ※特例子会社認定年月日 2008年2月1日
資本金 1,000万円
代表者 代表取締役 鴻田 楽
事業内容 障がい者雇用を促進する会社です。

1. データ入力代行等に関する業務
2. オフィスサービス等に関する業務
3. ファシリティサービス等に関する業務
4. メーリングサービス等に関する業務
5. 印刷等に関する業務

会社所在地

本社
〒106-6135 東京都港区六本木6-10-1 六本木ヒルズ森タワー35F
Tel:03-6361-6055 Fax:03-6361-6208

六本木サービスセンター・テレワークマネジメント室
〒106-0032 東京都港区六本木7-15-14 塩業会館ビル6F
Tel:03-5414-3211 Fax:03-5410-5211

光が丘サービスセンター
〒179-0032 東京都練馬区高松5-11-26 光が丘MKビル3F
Tel:03-6865-1920 Fax:03-6865-1922

横浜サービスセンター
〒231-0021 神奈川県横浜市中区日本大通18番地 KRCビルディング3F
Tel:045-274-8354 Fax:045-274-8355

福岡サービスセンター
〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1-10-4 第二博多借成ビル5F
Tel:092-418-7417 Fax:092-418-7418

札幌サービスセンター
〒064-0807 北海道札幌市中央区南7条西1-13 弘安ビル5F
Tel:011-806-0044 Fax:011-806-0045

従業員数

412名 (2022年7月1日現在)
内訳：スタッフ373名 管理社員39名



六本木ヒルズ



塩業会館ビル



光が丘MKビル



KRCビルディング



第二博多借成ビル



弘安ビル

在籍障害者 内訳	身体障害	38名 (重度：22名 重度以外：16名)	うち、発達：6名
	知的障害	82名 (重度：15名 重度以外：67名)	うち、発達：27名
	精神障害	253名	うち、発達：143名
		計373名	計：176名

テクノプロ・スマイルについて

テクノプロ・スマイルは、国内最大級の技術者派遣グループ「テクノプロ・グループ」の全国約2万3百名※の社員や、多くの外部企業を丁寧で細やかなサービスでサポートしている企業です。

※2021年6月末時点

豊富なリソース・ノウハウ

テクノプロ・スマイルでは約320名※の障がい者が全国5つの拠点で業務に従事しています。地方都市でのテレワーク等も積極的に活用し、大手企業から依頼される大量の情報処理などの業務にも柔軟に対応し高い精度で丁寧に処理しています。

従業員数

拠点数

約**370**名※

全国**5**拠点

※2022年6月末時点

セキュリティ&コンプライアンス

東証プライム市場企業の特例子会社であり、そのグループ企業からの業務も手掛けているテクノプロ・スマイルは情報セキュリティやコンプライアンスについても妥協することなく高いレベルで管理する体制を整えています。

セキュリティ

コンプライアンス

Pマーク
取得



東証プライム市場企業
(テクノプロHD)

働きやすさに配慮した環境

テクノプロ・スマイルでは障がいの種別によらず従業員が安心して快適に働くことができるようハード・ソフト両面から環境整備に努めています。障がいを持つ社員が安心して業務に従事できる職場環境で質の高いアウトプットを生み出します。

多様な働き方

定着サポート

- 300坪の拠点(光が丘)
- 適性に合わせた業務配置
- サテライト拠点での就業
- コーチが丁寧にサポート
- テレワーク設備導入
- 外部機関等と連携

テクノプロ・グループ

テクノプロ・スマイルが所属するテクノプロ・グループは、機械・電気・電子・輸送用機器、IT インフラ、ソフト開発、化学、バイオ、建築など、さまざまな分野のエンジニアや研究者を擁する国内最大規模の技術系人材サービス企業です。業界のリーディングカンパニーとして、国内外の大手企業、大学、研究機関等のお客様に対し、技術開発、研究開発へのサポートを行っています。日本で、そして世界で技術の進歩を推進し、より良い社会を創造する。それがテクノプロ・グループの使命です。

テクノプロ・グループは日本最大規模※の技術系人材サービス企業です

※矢野経済研究所『人材ビジネスの現状と展望 2018年版』における技術者派遣ビジネス事業者ランキングに基づく

技術者

22,048名

※2022年6月期末時点在籍(技術職のみ・海外含む)

年商

1,787億円

※2022年6月期実績

取引先

2,385社

※2022年6月期通期取引実績

主要グループ会社

テクノプロ・ホールディングス㈱	グループ持株会社(東証プライム市場)
㈱テクノプロ	技術者派遣、受託・請負
㈱テクノプロ・コンストラクション	建築施工管理
ピーシーアシスト㈱	PCスクール「Winスクール」運営

Boyd&Moore Executive Search㈱	エグゼクティブサーチ
テクノプロ中国グループ	中国における技術者派遣、受託・請負
Helius Technologies Pte Ltd	東南アジア・インド地域における技術者派遣・人材紹介
Orion Managed Services Limited	英国・欧州地域における技術者派遣・人材紹介

会社沿革

- 2007年 8月** 会社設立
- 2008年 2月** 特例子会社認定
- 2016年 12月** 横浜サービスセンター開設
- 2017年 10月** 福岡サービスセンター開設
- 2018年 2月** プライバシーマーク取得
- 2018年 10月** 厚生労働省『障害者のサテライトオフィス勤務導入推進事業』モデル企業に選定
- 2018年 11月** 札幌サービスセンター開設
- 2019年 1月** テレワークマネジメント室開設
- 2019年 5月** 光が丘サービスセンター開設
- 2019年 7月** 練馬区および練馬区社会福祉協議会と「協働ネットワークによる障害者雇用促進に関する協定」締結
- 2020年 6月** 福利厚生表彰・認証制度「優良福利厚生法人（総合）」に選定



【前提】 企業における障がい者雇用の必要性

【共通】

法令順守・義務
「障害者雇用促進法」
・ 法定雇用率達成
・ 納付金（調整金）

【特例子会社】

CSR
戦力化



グループの成長に寄与
しているという自負
【使命】

テクノプロ・スマイル

グループの枠を超えた
社会参画を実現
【アイデンティティ】

- ・ 恒常的な雇用（常用雇用者数の増加）
- ・ 外部流出コストカット&外部売上

当社のコアコンピタンス=障がい者の強み

特例子会社の主だった特徴

1) 優位性

- ・ 集中力（反復継続性）
- ・ こだわり（≡誠実）
- ・ 特殊な環境下での育成（礼儀）

2) 苦手分野

- ・ 複数業務の同時並行作業
- ・ イレギュラー（&段取り替え）対応

定型的軽作業中心（清掃等）

TSM特徴（含；ありたい姿）

<人員規模>

苦手分野を人員規模で解消（品質・納期）
（工程分割で役割特化）

<受注～現場体制>

- ・ TSM適性に合致した業務の受注（営業）
- ・ 技能スタッフむけの独自マニュアルの作成（技能開発部）
- ・ S C、T W M室で業務展開

といった「受注から立ち上げトレーニング、本番」まで、きめ細かな業務サポートが充実

結果として「複雑な業務受注」も可能に
（幅広い業務をとおして真の成長に寄与）

テクノプロGr以外の仕事も受注
（Grを超えた世の中の仕事に携わることができる）

当社のテレワーク導入の経緯

前提：【雇用必要数が多い人材サービスの特例子会社】・・・法定雇用率の上昇

首都圏の採用激化



大手企業の集中⇒障害者の売り手市場化
・・・リスク・・・クオリティの低下
(訓練スパンの短縮)

※発達障害／精神障害

地方のサービスセンター展開検討（横浜、福岡、札幌）



障害者雇用可能性が残る ⇔ but 現地調整の難しさ
(拠点事務所、管理社員
地域性、各方面の関係構築)

サテライトオフィス、在宅勤務の検討へ

運営・管理コストの軽減
地域パートナーズとの関係構築

当社のテレワーク導入のステップ

①行政主導のサテライトオフィス推進事業（単年度展開）に参画
2019年度厚生労働省「障害者のサテライトオフィス勤務導入推進事業」

①プロジェクトキックオフ
（親会社のCEO・CFO、他役員も含めた説明会）

プロジェクトメンバー：
親会社より人事部、ITインフラ部、CSR推進部および自社各部署

②トライアル：福岡サービスセンターに一部サテライトオフィスを設置

自社の従業員にて実施 ⇒ その後、事業にて採用した人材にて実施

③トライアル者の在宅勤務への移行：課題の洗い出し

④自社採用

グループのテレワーク制度化

当社のテレワーク導入時の課題 = 取り組み事項

【基本的にはトライ＆エラーで】
仮説⇒実施⇒検証⇒改善



課題①採用面

課題②仕事面

課題③定着面

常駐（通勤）者と同様か否か

当社のテレワーク導入時の失敗例

**失敗① : 面接、スペック、経歴を重視
⇒アンマッチ、早期離職**

取り組み事例＝失敗を改善したことによるメリット

改善①：見極め力の向上、リトライ制度の確立
採用と現場の意見交換、摺り合わせ

当社のテレワーク導入時の失敗例

失敗①：面接、スペック、経歴を重視
⇒アンマッチ、早期離職

失敗②：業務導入時のギャップ
⇒業務指示・理解、遂行面・出来映えの確認

取り組み事例＝失敗を改善したことによるメリット

改善①：見極め力の向上、リトライ制度の確立
採用と現場の意見交換、摺り合わせ

改善②：マニュアルの整備、オンライン研修の充実
スキルマップ作成

当社のテレワーク導入時の失敗例

失敗①：面接、スペック、経歴を重視

⇒アンマッチ、早期離職

失敗②：業務導入時のギャップ

⇒業務指示・理解、遂行面・出来映えの確認

失敗③：仕事の切り出しと採用を並行して実施

⇒固定業務がなく、トレーニング常態化

取り組み事例＝失敗を改善したことによるメリット

改善①：見極め力の向上、リトライ制度の確立
採用と現場の意見交換、摺り合わせ

改善②：マニュアルの整備、オンライン研修の充実
スキルマップ作成

改善③：業務棚卸、当社の強みの整理、
営業力の向上、営業と現場の意見交換

当社のテレワーク導入時の失敗例

失敗① : 面接、スペック、経歴を重視
⇒アンマッチ、早期離職

失敗② : 業務導入時のギャップ
⇒業務指示・理解、遂行面・出来映えの確認

失敗③ : 仕事の切り出しと採用を並行して実施
⇒固定業務がなく、トレーニング常態化

失敗④ : ネットワークトラブルへの対処法の未確立
⇒想定ができていなかった

取り組み事例＝失敗を改善したことによるメリット

改善①：見極め力の向上、リトライ制度の確立
採用と現場の意見交換、摺り合わせ

改善②：マニュアルの整備、オンライン研修の充実
スキルマップ作成

改善③：業務棚卸、当社の強みの整理、
営業力の向上、営業と現場の意見交換

改善④：現場のトラブル対応力、リスク管理の視点

当社のテレワーク導入時の失敗例

失敗① : 面接、スペック、経歴を重視
⇒アンマッチ、早期離職

失敗② : 業務導入時のギャップ
⇒業務指示・理解、遂行面・出来映えの確認

失敗③ : 仕事の切り出しと採用を並行して実施
⇒固定業務がなく、トレーニング常態化

失敗④ : ネットワークトラブルへの対処法の未確立
⇒想定ができていなかった

失敗⑤ : 支援機関との連携不足、方針ギャップ
⇒サービス上の問題、ITリテラシー

取り組み事例＝失敗を改善したことによるメリット

改善①：見極め力の向上、リトライ制度の確立
採用と現場の意見交換、摺り合わせ

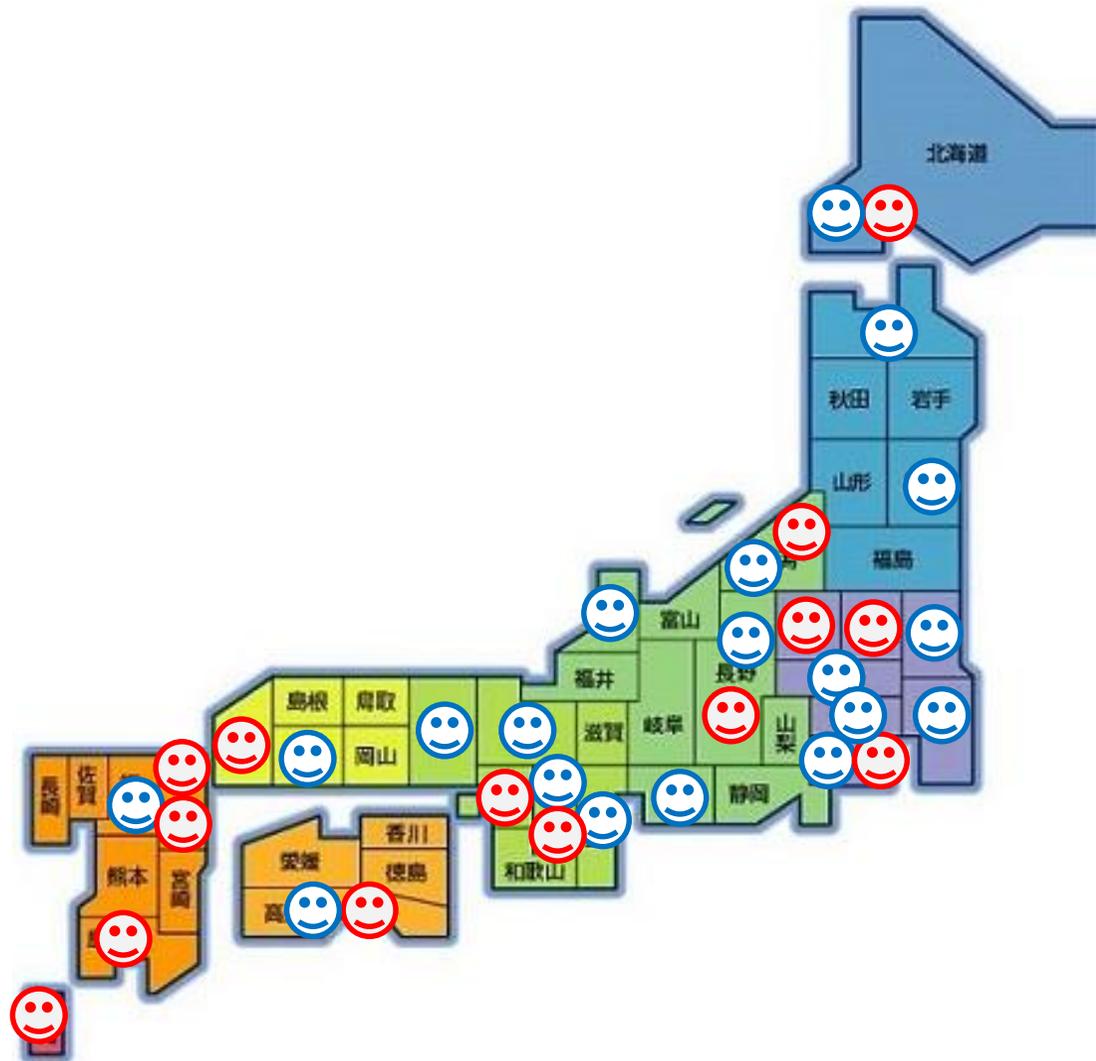
改善②：マニュアルの整備、オンライン研修の充実
スキルマップ作成

改善③：業務棚卸、当社の強みの整理、
営業力の向上、営業と現場の意見交換

改善④：現場のトラブル対応力、リスク管理の視点

改善⑤：支援機関との関係構築、定例会の開催

採用面で得られたこと：多様な地域からの人材発掘



課題①採用面：常駐（通勤）者と同様か否か

【見えてきたこと】

人材要件：ベースは一緒（但し、相違点もある）

相違点①：業務指示、理解力、遂行力
※見本・モデリングに頼れない

相違点②：意思疎通（コミュニケーション）
※修正が難しい、必要外、何気ないがナイ？

相違点③：判断力・発信力
※自己判断⇒説明力、提案力

相違点④：不安
※はじめの一歩が大事

相違点⑤：共感・共有、地域性（ローカル）
※暗黙の了解、忖度

人材要件⇒リトライ制度

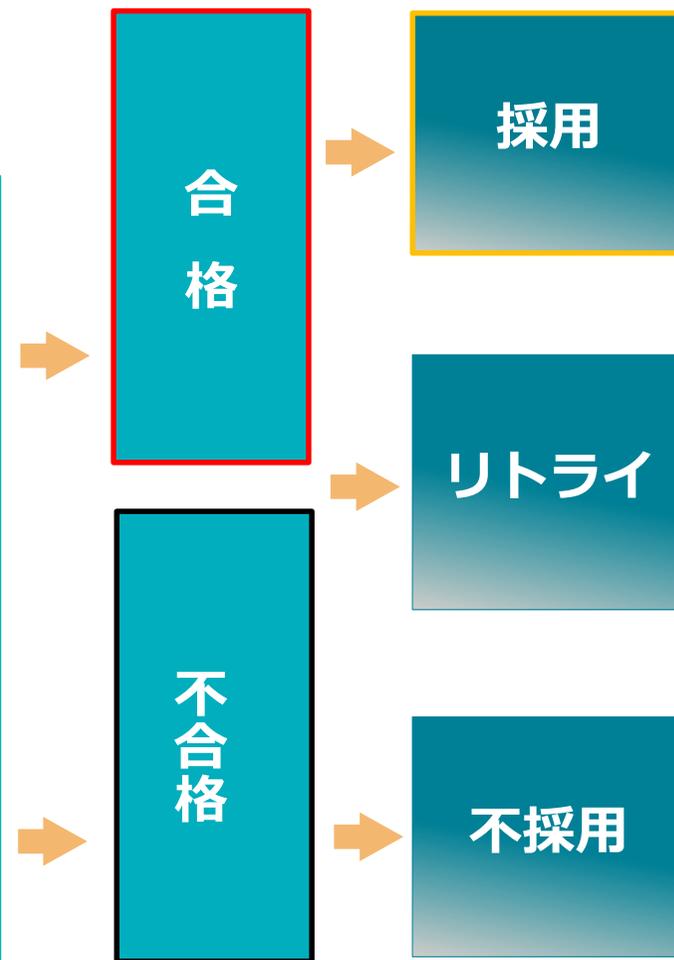
【前提】

- ・ 勤怠が安定している方
- ・ 週5日、6時間お仕事ができる方



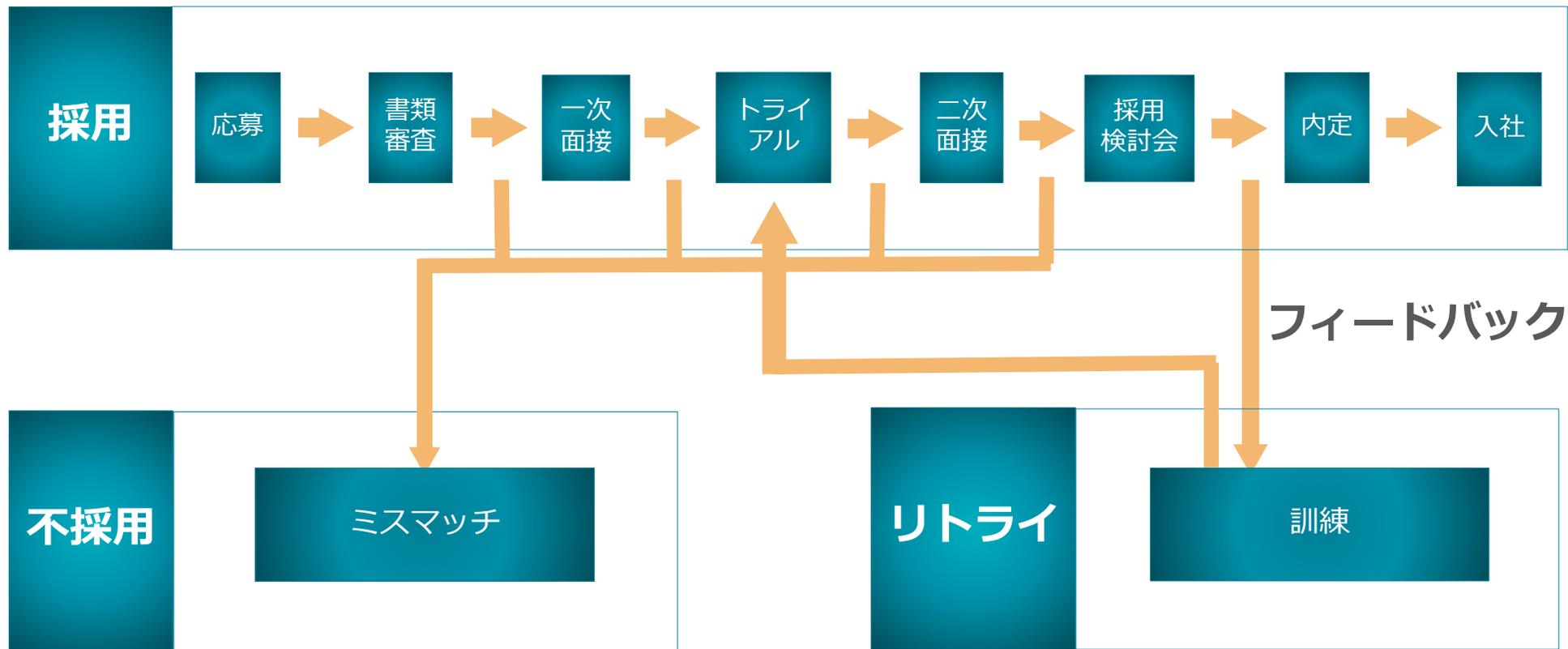
※障がいによる通院、リハビリについては考慮します。

- 1、テクノプロ・スマイルで働きたいと意欲が高い方
- 2、自己管理ができる方
- 3、理解力・修正能力のある方（聞く耳と行動）
- 4、自己発信ができる方（おかしいと思ったら発信）
- 5、共に働く仲間とコミュニケーションを図り、仕事をやっていきたいと思える方



採用フロー

採用フロー



課題②仕事面：常駐（通勤）者と同様か否か

業務内容や業務体制は同一でも異種でも対応は可能



但し、業務選別/棚卸、導入/研修、運用/確認は再整備

- ① マニュアル整備、標準化
- ② スキル把握
- ③ チーム・スマイルの確立
チームやセンターの垣根越え

テレワークの業務内容

テレワークでは下記の業務を行っています。

※2022年1月時点

1、データ入力

- ・各種アンケート入力
- ・スキャニング名前付け
- ・社会保険関連入力
- ・年末調整情報入力
- ・財務帳票イントラネットへの入力

2、資料作成

- ・音声（会議記録等）文字起こし
- ・新聞等文字情報の電子データ化

3、データベース作成

- ・アナリティクス情報転記
- ・事業所情報検索入力
- ・健康情報管理システム入力
- ・人事情報データベース入力

4、受付代行

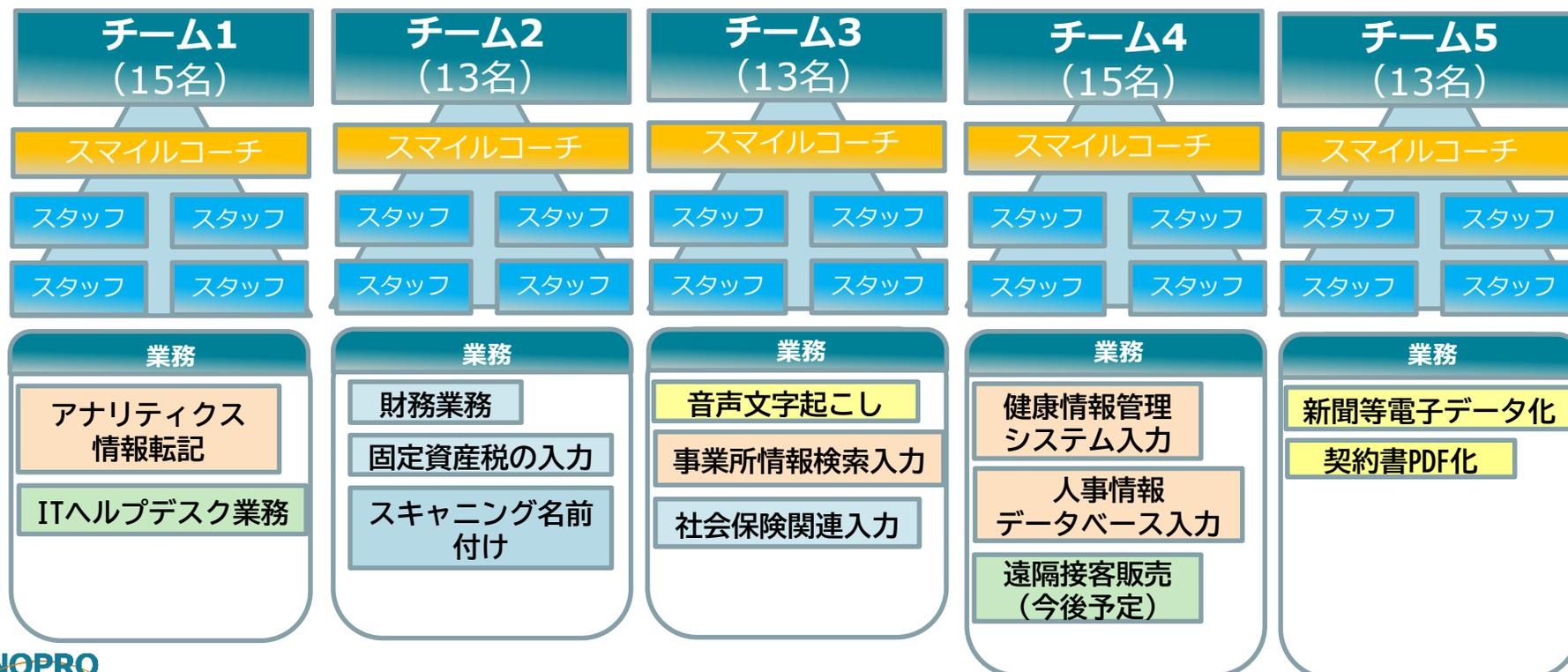
- ・ITヘルプデスク業務
- ・財務帳票の受付、仕分け
- ・遠隔接客販売（今後予定）

自宅でパソコンを使って行う仕事には様々なものがあります。
上記の仕事以外でもスタッフが活躍できる場を作る業務内容の拡大活動も並行して行っています。

業務体制

個人でなく、チームで仕事を行います。

- スタッフマネジメントはスマイルコーチが行います。
- 障がい特性やスキルに応じて、組織を複数のチームに分け、コミュニケーションを密に取りながら日々の業務を実施しています。
- チーム、担当業務は、障がい特性やスキル、業務状況に応じて流動性をもたせています。
- 複数名のスタッフにて一つの業務を行うことで、業務負担を分散・軽減しています。
- 営業活動は営業推進部が行い業務拡大中。顧客のオーダーにより業務内容や受注量が変わります。



※2022年1月時点。業務内容は状況により変動あり。

課題③ 定着面：常駐（通勤）者と同様か否か

【支援者のウェイトUP】



【支援者との連携UP】

- ① 情報共有
⇒ ギャップが埋まる
⇒ マッチング度が高まる
- ② 応募機会の創出
- ③ 適切なフィードバック
⇒ 訓練への反映
⇒ 定着への反映

本人 ・ 支援機関 ・ 企業
Win ・ Win ・ Win

職業準備性ピラミッドに見る企業と支援機関の連携

【継続就労に必要なスキル】

<仕事をする力>

- 作業能力
- 職業適性

<職業生活を続ける力>

- 挨拶
- 報告・連絡・相談
- 時間管理、安全管理

<人と関わるための力>

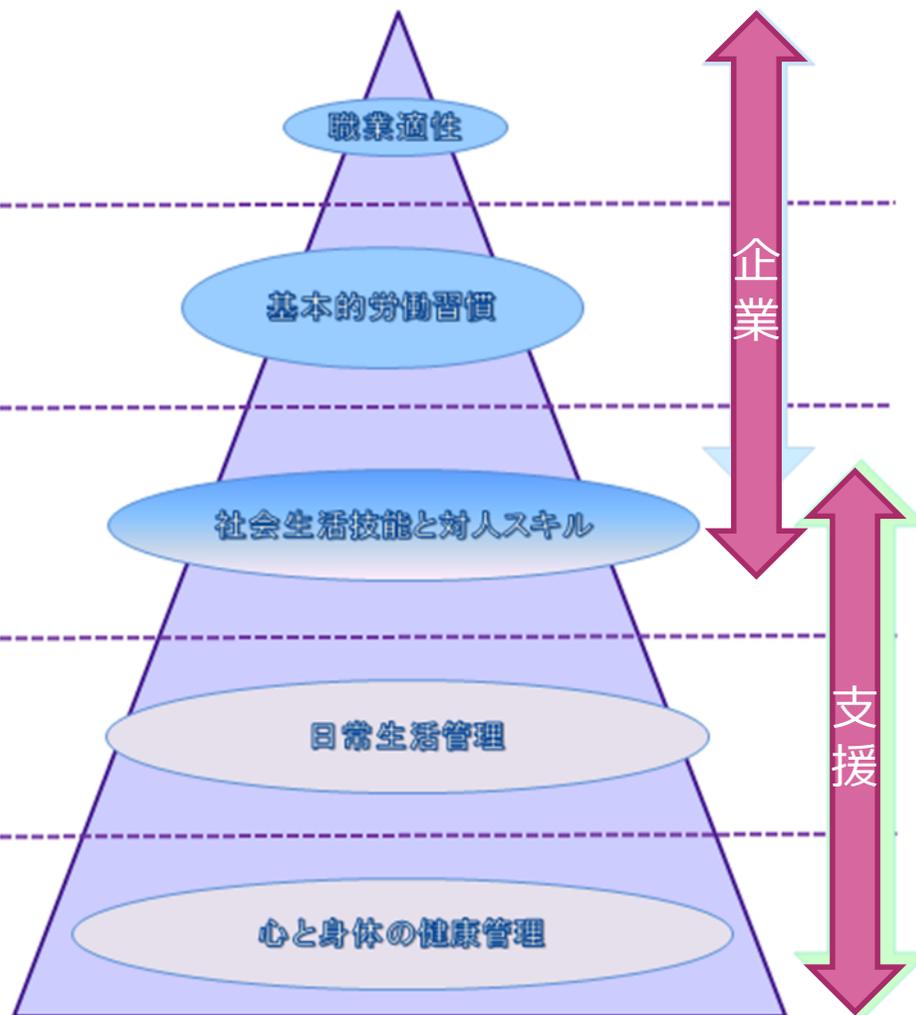
- 身だしなみ
- 会話(意思伝達、質問、聞(姿勢)
- 環境変化への対応(感情コントロール)
- 謝罪

<日常生活を管理する力>

- 基本的生活リズム
- 金銭管理・買物
- 余暇活動

<健康を管理する力>

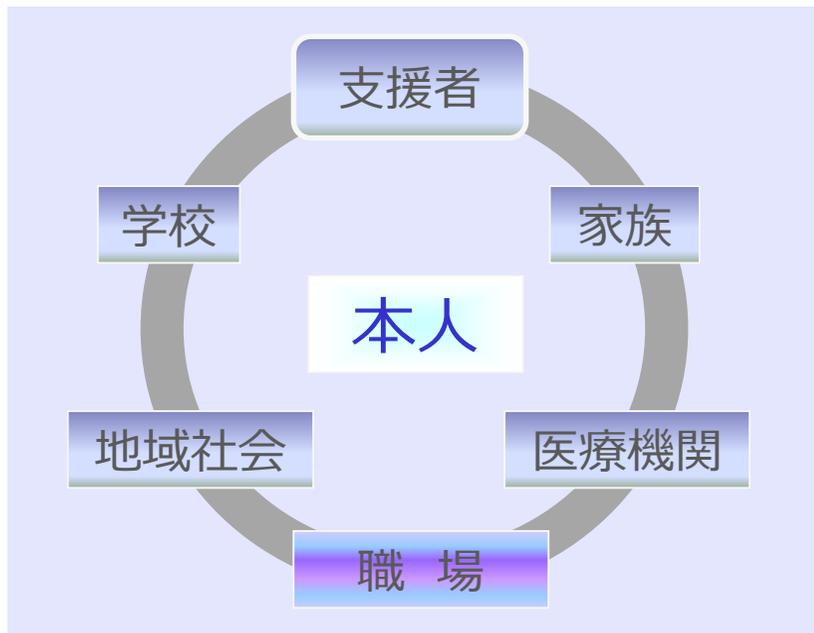
- 体調管理(食事・栄養管理)
- 通院・服薬管理



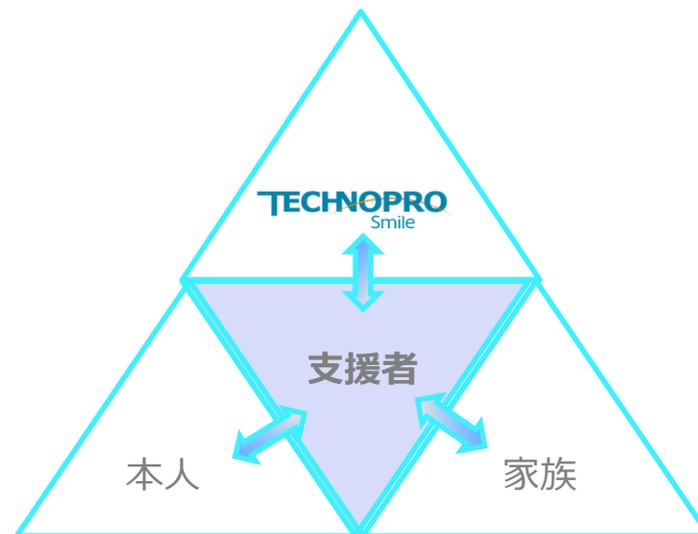
(職業準備性ピラミッド:高齢・障害・求職者雇用支援機構 & スマイルVer.)

企業が雇用する上で有効的な支援者との関係性

一般的なサポート体制の図



雇用上必要なサポート体制



◆ 支援者へ求める事 ◆

① 実態の把握

② 家族との連携

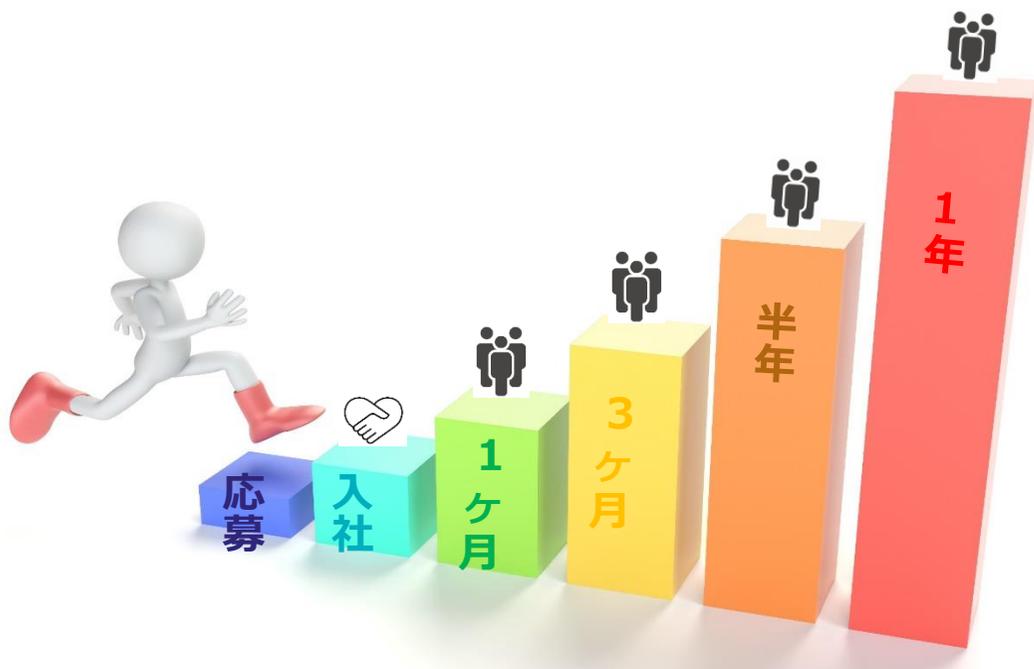
③ 情報提供

④ 緊急時・災害時 ⑤ ネガティブな状況（休職・退職）

定着支援

入社後の定着面談

定着面談は基本、1ヶ月、3ヶ月、半年、1年といったスパンで実施



基本的な考え方

定着面談（3者）	本人、支援、テクノプロ・スマイル
定着面談時期	1ヶ月、3ヶ月、半年、1年
定着面談時間	約1時間
その他： 基本定着面談（3者面談）以外の就業中における支援者、本人の面談実施について	上限月1回：30分 ※面談実施1週間前には担当スマイルコーチに報告ください。

テクノプロ・スマイルでは、入社後もご本人の安定した定着を目指し、業務状況やご本人の課題点のすり合わせ等、支援者と継続して行っていきたく思っております。相互が協力する体制を築き上げ、ご本人の長く安定した定着のため、連携することを目指します。

【まとめ】 支援の方に期待すること・伝えたいこと

障がい者雇用における定着とは・・・
本人たちにとって安心できる居場所であること



本人たちの為にも居場所である会社や所属する人の話にも
耳を傾けていただきたい

一方で企業は福祉サービス分野の知識を充分有していない



できることや範囲、歩み寄れる合意点は教えていただき、
一緒に本人にとっての最良な道を考えていきたい

その上で成長や感謝、やりがいを実感できるように
できたら最高（三方良し、WinWinWin）

ご清聴ありがとうございました

TECHNOPRO
Smile

すべての人に
はたらく笑顔を

求人・応募に関するお問い合わせ・ご相談の窓口

株式会社テクノプロ・スマイル
雇用推進部 原・坂口

電話 070-7464-8556 (原)・070-7464-3264 (坂口)

FAX 03-5410-5211 Eメール saiyo-smile@technopro.com

[書類送付先] 〒106-0032 東京都港区六本木7-15-14 塩業会館ビル6F

取り組み紹介①

都市部と地方をつなぐ 障害者テレワーク事例集 (mhlw.go.jp)



障害者のサテライトオフィス 雇用推進マニュアル2019 (mhlw.go.jp)

取り組み紹介②

日本経済新聞

朝刊・夕刊 LIVE Myニュース 日経会社

トップ 速報 オピニオン 経済 政治 ビジネス 金融 マーケット マネーのまなび テック 国際 スポーツ 社会・調査

この記事は会員限定です

障害者の力、地方で発掘 東京の採用難を遠隔で解決 働き方innovation どこにいても働けますか (6)

働き方改進黨 +フォローする

2021年8月9日 5:00 [有料会員限定]

保存

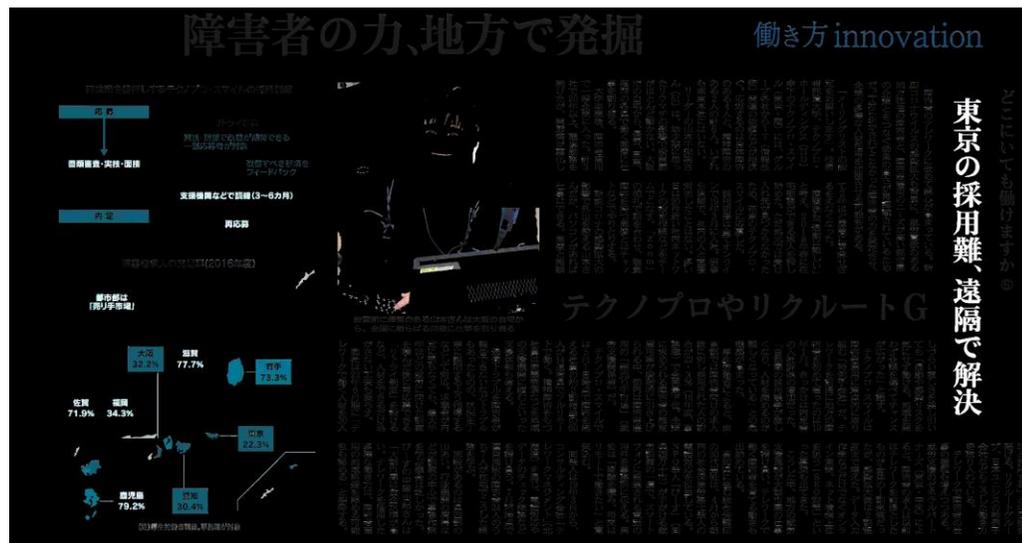
メール 共有 ツイート Facebook 共有

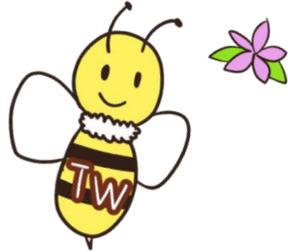
障害者のテレワークに改めて関心が高まっている。新型コロナウイルスの感染拡大も背景に、就労意欲のある地方在住の障害者と、障害者雇用のニーズが高い都市圏の企業とをつなぐ効果の高さが再認識されているためだ。十分に活かされてこなかった障害者の力を開花させ、企業の多様な人材活用を加速させる可能性がある。

「メーリングリストの設定をお願いします」。技術者派遣大手、テクノプロ・ホールディングス (HD) 傘下のテクノプロ・スマイル (東京・港) ...

[障害者の力、地方で発掘 東京の採用難を遠隔で解決：日本経済新聞 \(nikkei.com\)](https://www.nikkei.com)

[8/9 日本経済新聞 働き方innovationに掲載](#)





TWM室のご紹介



テレワーク室の1日

10:00~10:10

朝礼（全体朝礼・チーム朝礼）

10:10~12:00

業務開始

- ・入力業務・文字起こし作業
- ・マニュアルの資料作成
- ・データの抽出など

12:00~13:00

昼休み

13:00~16:40

業務開始

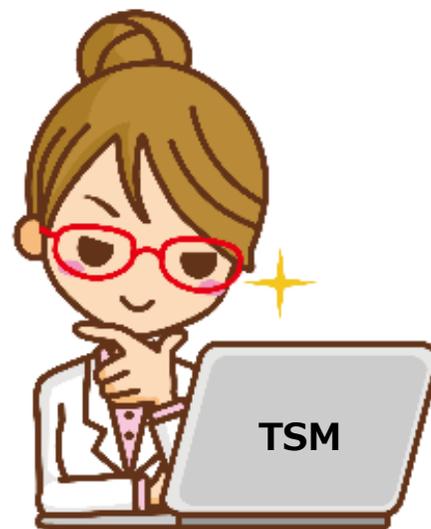
- ・MTG参加

16:40~16:55

業務日報作成など

16:55~17:00

終礼、退社



朝礼

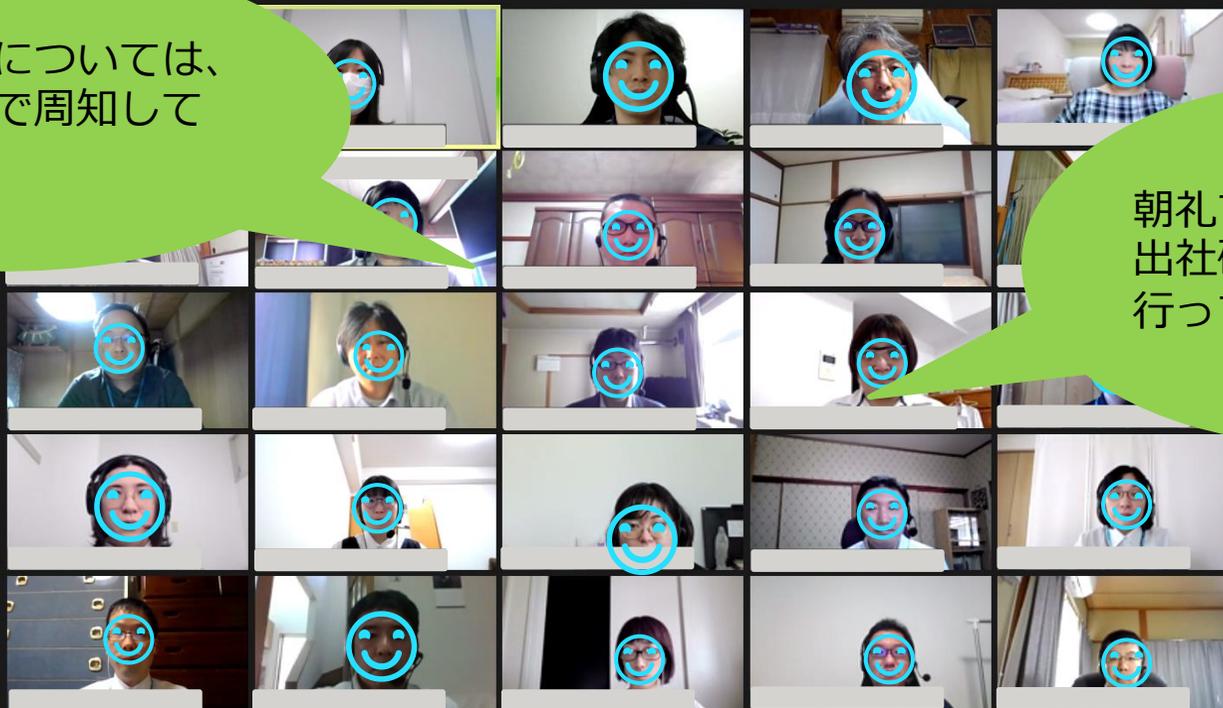
10:00~10:10

朝礼（全体朝礼・チーム朝礼）

全体朝礼に参加する事から1日がスタートします。

当日の業務については、
チーム朝礼で周知して
います😊

朝礼ではみなさんの
出社確認もあわせて
行っています。



テレワークの業務

10:10~12:00

13:00~16:40

業務開始

- ・ 入力業務・文字起こし作業
- ・ マニュアルの作成
- ・ データの抽出など

TWM室_問い合わせ対応表

問い合わせ日付*
2020-04-27

氏名*

チーム名*
※プルダウン選択してください

業務種別*
※プルダウン選択してください



テレワークの業務ってどうやって進めているの？

10:10～12:00

13:00～16:40

業務開始

- ・入力業務・文字起こし作業
- ・マニュアルの作成
- ・データの抽出など



業務中に使用する
コミュニケーションツールの紹介



業務中に困った時は？

①チャット

どうやって連絡するの？

②音声通話

③電話、メール

コミュニケーションツール（チャット）

簡潔になにを伝えたいかを意識しています。
また、状況によって言葉使いや内容も考えて送っています。

チャットだと文章が残るので、聞き逃すことはありません。

本日16時より、新PCが届いていても音声・入力、出力に問題の
す。集計してITに連絡する為。
対象者は16時から全体朝礼のZOOMに入ってください。

牧 お疲れ様です。

濱 ありがとうございます！承知いたしました。

市 承知いたしました。

牧 承知いたしました

藤 かしまりました。ありがとうございます！

コミュニケーションツール（通話・カメラ）

相手の話をしっかり聞くことを心掛けています。
聞いていることが相手に伝わるように相づちや頷き等の動作も意識しています。

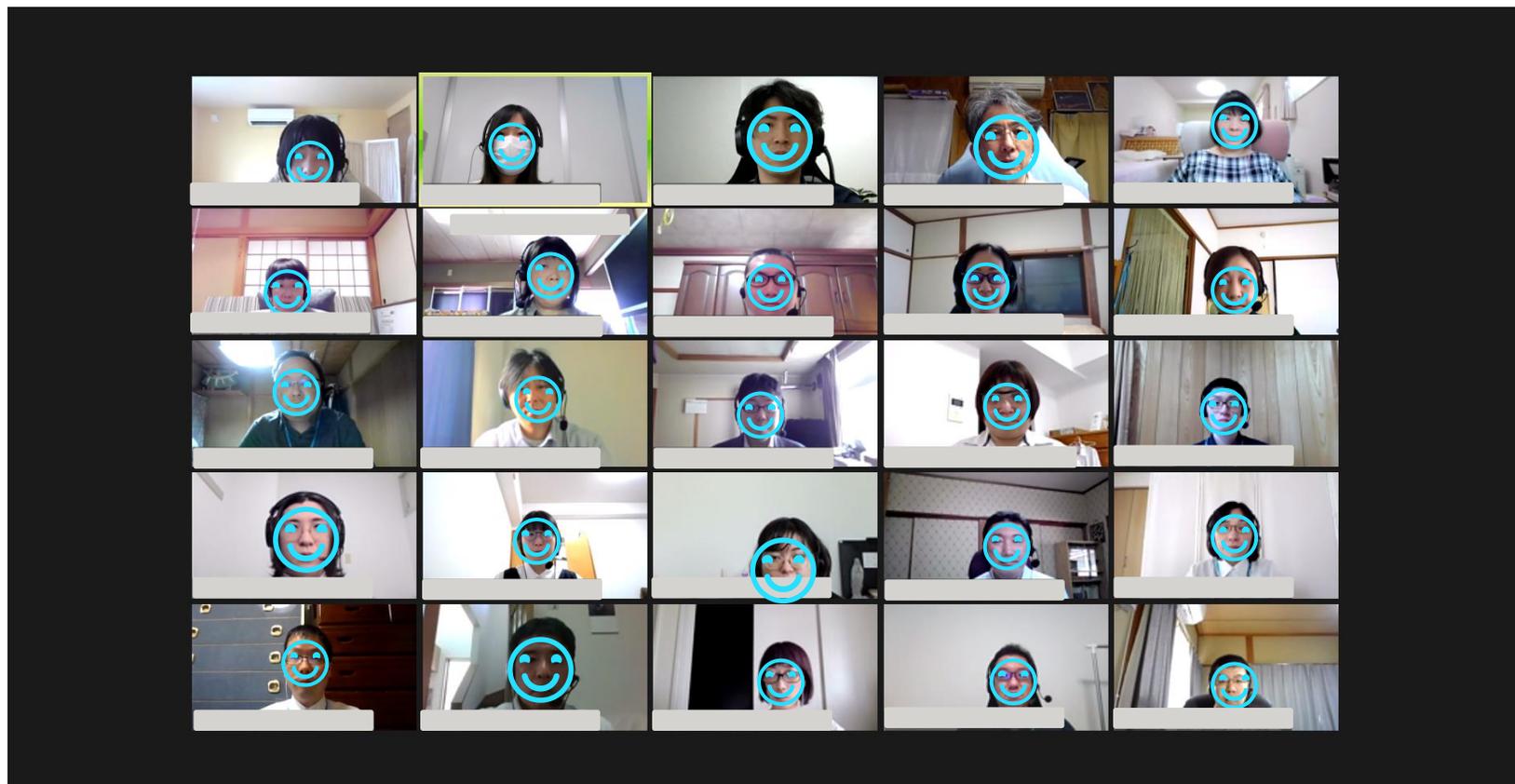


テレワーク室の1日

16:55~17:00

終礼、退社

1日の終わりも全員で顔を合わせて終礼を行います。



テレワークの同僚について

【障がい】

- 身体障がい
- 精神障がい
など

現在79名

※2022年7月1日時点



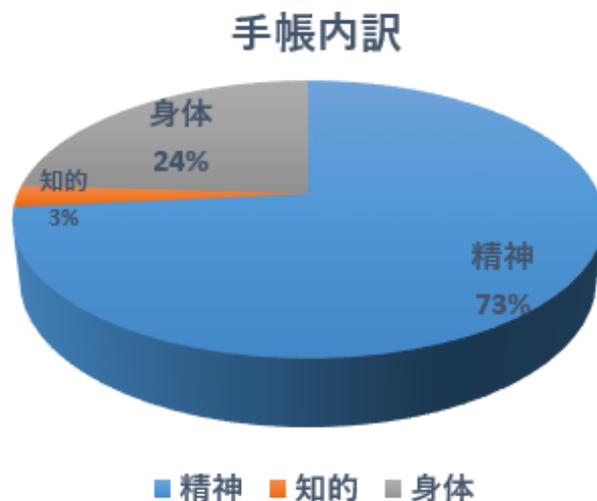
テレワークの同僚について

○障がい種別

※2022年7月1日時点

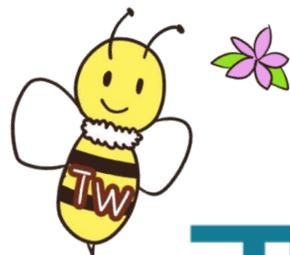
■テレワークマネジメント室_在籍者数

TWM室	合計	手帳内訳		
		精神	知的	身体
人数	79	58	2	19
割合		73%	3%	24%



■障害診断

障害名 (疾病)	人数 (延べ)
1 発達障害	35
2 うつ病	18
3 上下肢	17
4 統合失調症	9
5 不安障害	9
6 パーソナリティ障害	8
7 双極性障害	7
8 内部	4
9 視覚障害	3
10 知的障害	1
11 聴覚障害	1
12 その他	1
13 合計	113



TECHNOPRO
Smile

2019年1月 1名からTWM室はスタートしました。

今後も運用やコミュニケーションツールを改善しながら、テレワークを必要としている多くの方にご就業頂ける環境を整えていきたいと思ひます。